

臼田地域の「現状のごみ分別方法」と「佐久市堆肥製産センターでの堆肥化」について

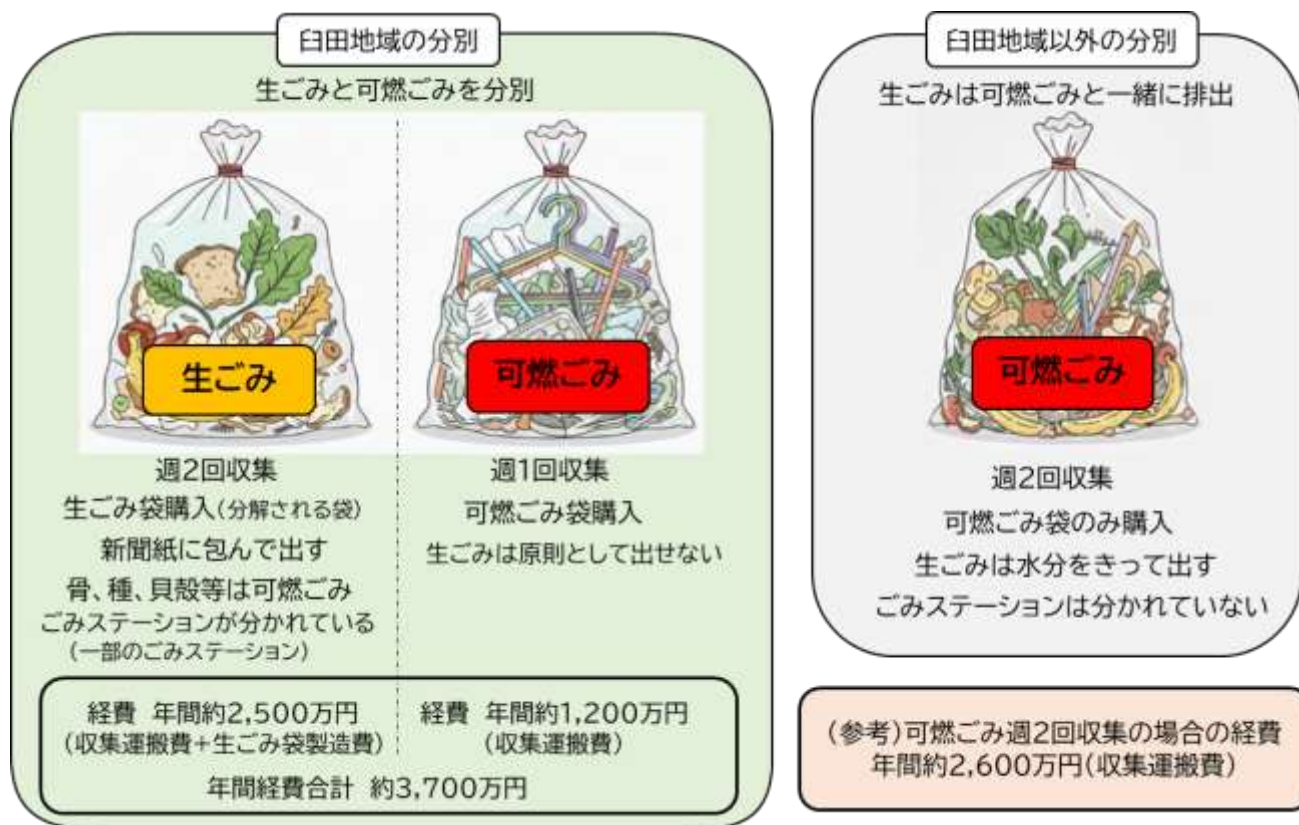
生ごみ堆肥化の概要

臼田地域は、昭和 53 年(旧臼田町)から、家庭や事業所から排出される生ごみの分別収集により堆肥化を行っています。皆様のご尽力により、生ごみの堆肥化をすることで、生産された堆肥は個人の方や事業者の方が購入することができ、幅広く農業で活用され、「資源循環型社会」の形成や可燃ごみの減量化に寄与する取組となっています。

現状のごみ分別方法(生ごみと可燃ごみ)と年間経費

現在、臼田地域で生ごみを出す場合は、「生ごみ専用収集袋(オレンジ色の袋)」を購入していただき、新聞紙に包んで、生ごみが排出できるゴミステーションに出していただいています。

生ごみ以外の可燃ごみは、「可燃ごみ収集袋(赤色の袋)」に入れて、ゴミステーションに出していただいています。他の地域との分別の違いと年間経費は下図のとおりです。



「佐久市堆肥製産センター」での生ごみの堆肥化について

佐久市堆肥製産センターでは、臼田地域の家庭からの生ごみが減少してきている状況を受け、家庭からの生ごみだけでなく、市内の一部の事業所から出た生ごみの受け入れも行っています。

※本アンケートの選択肢 2「生ごみを可燃ごみに含め、可燃ごみの収集回数を週 2 回にする」場合は、生ごみの堆肥化事業を可能な限り継続するため、市内全域の「多量排出事業者」(病院、福祉施設、保育園、飲食店など)から出る生ごみの受け入れに取り組みます。